

PREVIEW

THE GATEWAY

ABSOLUTE 47 Fly

ミラーフィニッシュのサイドウィンドウが特徴的な「ABSOLUTE 47 Fly(アブソリュート47フライ)」。日本のマリーナ環境にもぴったりの47フッターにして、サイズ上の広々としたエクステリアとインテリアは実に魅力的である。オーナーキャンにとっての使い勝手と愉しさを追求したスタイルは、ボートを知り尽くした「ABSOLUTE」ならではの。2019年秋のコンスでデビューした「ABSOLUTE 47 Fly」力を紹介しよう。

text: Atsushi Nomura

photo: ABSOLUTE YACHTS

special thanks: ABSOLUTE YACHTS www.absoluteyachts.com
TECNOMARE INTERNATIONAL www.tecnomare-yachts.co.jp





フライブリッジの前半分を覆う広大なサンベッドがいかにモダンな。47フッターにしてフォアデッキにはラグジュアリーなラウンジが有られる。スタンダードモデルは、ハードトップやレーダーアーチのないフルオープンなフライブリッジとなる。

ロピアンボートのトレンドを牽引する最新スタイルのサロンクルーザー 大きな居住空間と高い機能性を併せ持つ ABSOLUTE のエントリーモデル

9月のCannes Yachting Festivalでワールドプレミアムを迎えたTE 47Fly(アブソルート47フライ)は、「ABSOLUTE YACHTS(アブソルートヤachts)」のFlybridgeシリーズの一艇。47~72フィートのレンジを揃うFlybridgeシリーズの中ではミニマムモデルだが、そのミニマムではない。むしろ全長以上の存在感を持ったインテリアは驚くべきレベル。いかにもABSOLUTEらしい特徴が随所に散り見られる。

ABSOLUTE YACHTSは北イタリアのピアヴェに本拠を置くボートビルダー。かつて風靡したエクスプレスクルーズ(ゴッビ)出身のエンジニアたちが、その伝統を受け継ぐべく立ち上げたブランドである。創立は2002年と比較的新しいが、前身の1967年創業という長い歴史を誇る名門。培われた経験値によりABSOLUTEはわずか20年弱でヨーロッパのマーケットに確固とした地位

を築き、強い影響を与えるリーディングカンパニーのひとつにまで急成長した。

現在は「Flybridge」と、ファストローラーの「Navetta」という2つのシリーズを展開するABSOLUTE。ブランドを貫くコンセプトは、「品質、イノベーション、美しさ、安全、環境への配慮、効率、堅牢」の7つのキーワード。一般的にボートの内部構造はハルの形成後に順次構築されるが、ABSOLUTEでは、あらかじめ主な船内造作を完全な水平面上で構築し、完成後、全体を一気にハル内部に接合するISS(Integrated Structural System)工法が特徴で、高い精度の設計を可能にする。また、ハル自体の剛性を上げ、低振動、低騒音を実現している。また創立当初から、全モデルのパワートレインにVOLVO PENTA IPSドライブを採用してきたことも特徴のひとつだ。

フリートのゲートウェイである「47Fly」は、47フィートのサイズに

ABSOLUTEならではの彫刻的なスタイリング。垂直に近いステムに、ガムネルの高いショートノーズ、ハイボリュームな上部構造というシルエットを、サイドウィンドウとシアラインの直線的なデザインや、ディテールに施された特徴的な刻みなどでスポーティにまとめ上げている。

ABSOLUTEは他のラインナップでもサイズ以上のボリュームを感じさせるが、「47Fly」はそれが特に顕著で、アフトデッキの後端まで覆う長大なフライブリッジに、チークテーブルと優雅な天蓋を備えたフォアデッキのラウンジ、電動サンシェードによりプライバシーが守られるアフトデッキな

ど、他のビルダーでは叶わない魅力的なファシリティが揃う。エントリーモデルにして昇降式スイミングプラットフォームというも贅沢な仕掛けだ。

フライブリッジの前半分は広大なサンベッド。そこに食い込むように右舷側にシングルシート2座のヘルムステーションが配置される。サンベッドはヘルムの左舷側まで回り込み、キャプテンとゲストの一体感が強い魅力的なレイアウトだ。左舷後方にBBQグリルとウェットバー、後部にはU字型ソファに囲まれたチークテーブルが備わる。

アフトデッキからサロンに入ると驚くほどのボリューム感。全体にヘッド





ヘッドクリアランスが高く、陽光にあふれた開放的なサロン。アイランドタイプのサイドウィンドフは電動オープン可能。カウンターは食料機までビルトインされた贅沢なもの。対面する右舷側には沖乗庫とワインクーラーが用意される。



ンスがあり、高さのあるサイドウィンドウが、明るく、開放感あふれサロンを演出する。サロン後部にL字型のギャレー。サロンドアをキッチントップの電動ウィンドウを下げればアフトデッキと一体化カウンターとなり、最高のパースペースとなる。一段上がったサロンの左舷にU字型ソファを配した大型ダイネット。対面する右舷

にもソファがあり、その前方にシングルシートのロアヘルムステーションが来る。ヘルムスの右手にはサイドデッキに通じる大型のスライドドア。少数での取り回しが多くなるこのクラス、キャプテンがすぐにサイドデッキにアクセスできるのは非常に魅力的だ。サイドデッキも十分な幅があり、身を乗り出して桟橋を見ながらジョイスティックを操作することができる。

を開け、ギャレートップの電動ウィンドウを下げれば、アフトデッキに向けた格好のバーカウンターが現れる。フライブリッジへのアクセスは女性や子どもにも優しいモールドステップ。コクピット後部のバの側には、保管時のプライバシーを高める電動サンシェードが仕込まれている。



ヘルムス脇の階段を下りロアフロアへ。キャabinは3つあり、フォアのVIPキャbinと左舷ミジップのマスターキャbinは、アイランドタイプのクイーンサイズベッドを配置。マスターキャbinにはウォークインクローゼットと大型ミラー付きのドレッサーが置かれ、パートナーへの配慮も完璧。ヘッドボード上部のミラーが、ハルサイドウィンドウを模したデザインなのも面白い。VIPキャbinは右舷側をヘッドボードにした斜めの配置と、2面の大型ウィンドウのデザインが斬新で、素晴らしい景観が愉しめる。セパレートされたシャワールーム付きの専用ヘッドと、大型ワードローブも用意されている。右舷ミジップには2シングルベッドのゲストキャbin。ロアフロア全体の広さも、やはり47フィートのボリュームではない。

パワートレインは480馬力のVOLVO PENTA D6-IPS650を2基搭載。ビルダー公表のトップスピードは29ノット、クルージングスピードは25ノットと、サロンクルーザーとしては十分なレベル。「47Fly」の場合、走行性能以上に魅力を感じられるのが、ラグジュアリーな居住空間。47フィ

フォアのVIPキャbinは右舷側をヘッドボードにした斜めの配置。2面の大型ウィンドウのデザインが斬新で、ベッドが水置より高いので素晴らしい景観が愉しめる。ミジップのマスターキャbinは、ウォークインクローゼットと大型ミラー付きのドレッサーがパートナーにも嬉しい。

トという限られたサイズに、ABSOLUTEの上位モデルにも匹敵するさまざまな意匠や、空間の使い方はまさしく秀逸なボートデザインの成せる技だ。日本のマリーナ環境にも合うサイズの「ABSOLUTE 47 Fly」、このボリューム感と出色の仕上がりであり、ぜひとも日本のマリーナで見てみたいモデルである。P.B.

ABSOLUTE 47 Fly

全長	14.63 m
全幅	4.48 m
喫水	1.25 m
重量	23 ton
エンジン	2x VOLVO PENTA D6 - IPS650
最高出力	2x 480 HP
燃料タンク	1,600 L
清水タンク	530 L
問い合わせ先	テクノマリーナインターナショナル
TEL:	048-878-6806
www:	tecnomare-yachts.co.jp

